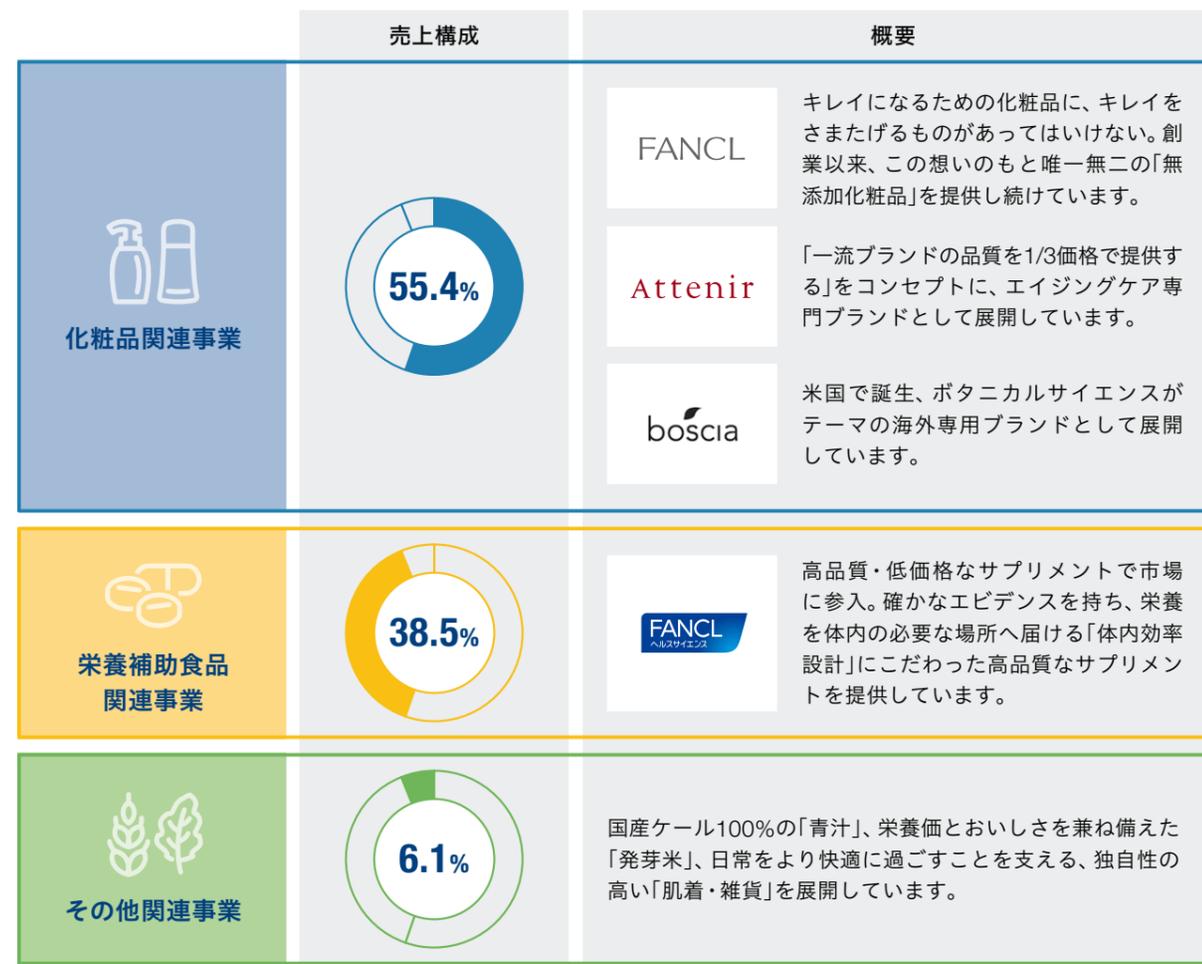
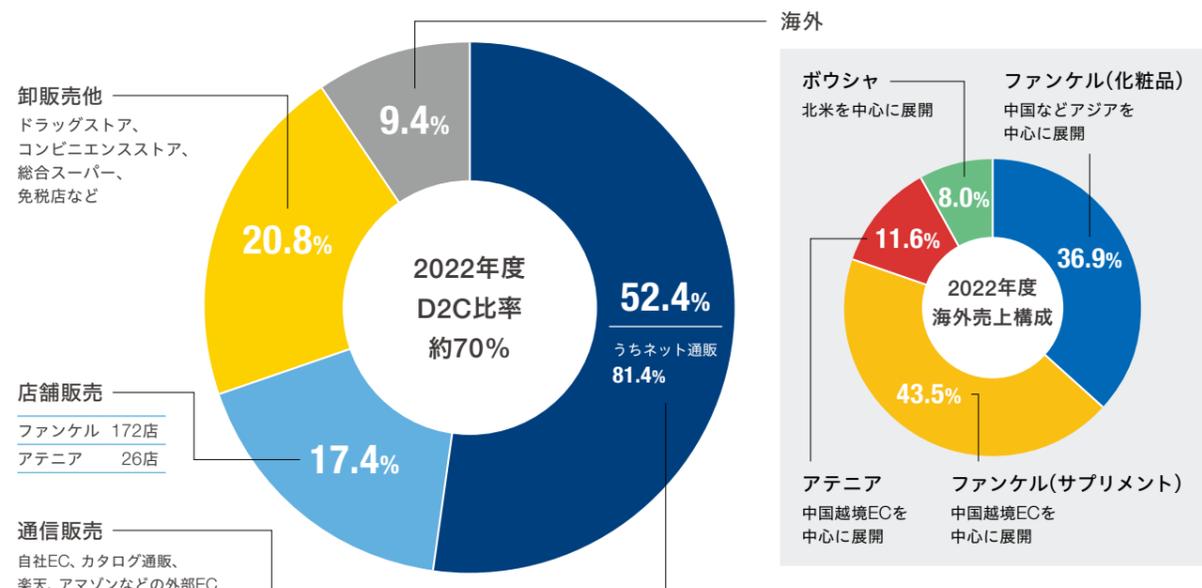


# ファンケルグループについて

## 事業概要



## 販売チャネル別売上構成



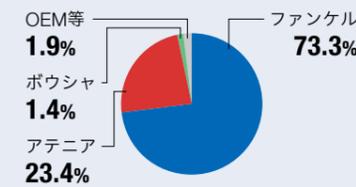
## 2022年度業績



### 化粧品関連事業



#### ブランド別売上構成



積極的な広告投資により通信販売および卸販売が増収となったものの、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、店舗販売および海外が減収となり、事業全体で減収となりました。

ファンケル化粧品は、「エンリッチプラス」や「マイルドクレンジング オイル」の広告宣伝を強化したことにより、通信販売および卸販売が伸長しました。

アテナは、国内は「スキんクリア クレンジング オイル」や、スペシャルケア製品が好調だったものの、海外が中国ロックダウンの影響や、現地の在庫調整により減収となりました。

ボウシャは、化粧品専門店や百貨店などの小売への卸販売が振るわず、減収となりました。損益面では、売上総利益率の改善や、販売促進費の効果的な使用に努めたものの、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより減益となりました。



### 栄養補助食品関連事業



国内は、新型コロナウイルス感染症の影響などにより、店舗販売が減収となったものの、広告宣伝を強化したことにより、通信販売および卸販売が伸長し、増収となりました。

製品別には「年代別サプリメント」が好調だったほか、広告宣伝を強化した「えんきん」「大人のカロリミット」などが堅調に推移しました。

海外は、中国ロックダウンの影響や、現地の在庫調整により減収となりました。損益面では、増収により売上総利益が増加したものの、広告宣伝費を積極的に使用したことなどにより減益となりました。



### その他関連事業



発芽米、青汁などが減収となりました。損益面では、減収となったものの、広告宣伝費などの経費の効果的な使用に努め、増益となりました。

